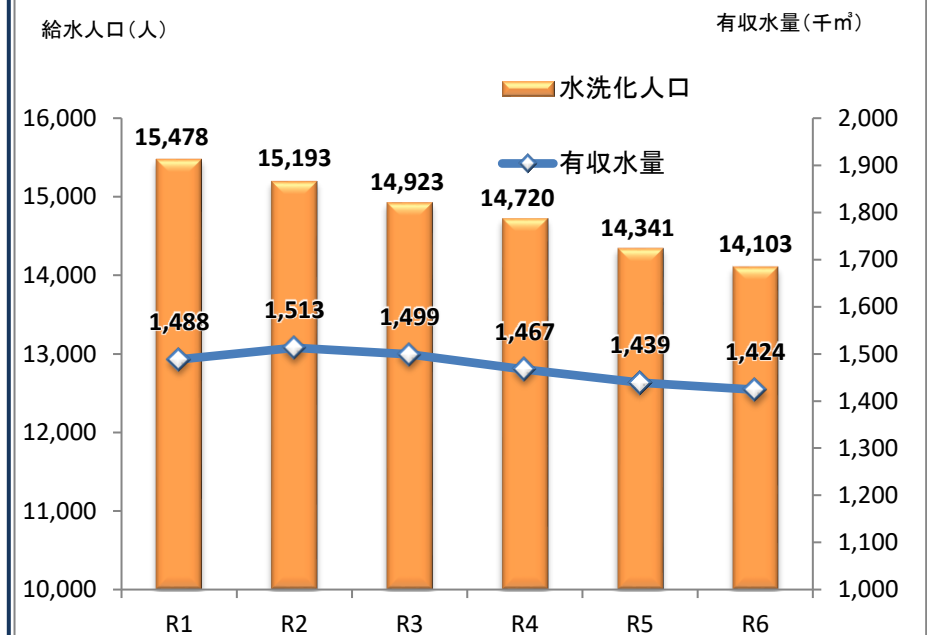


令和6年度 下水道事業会計予算概要

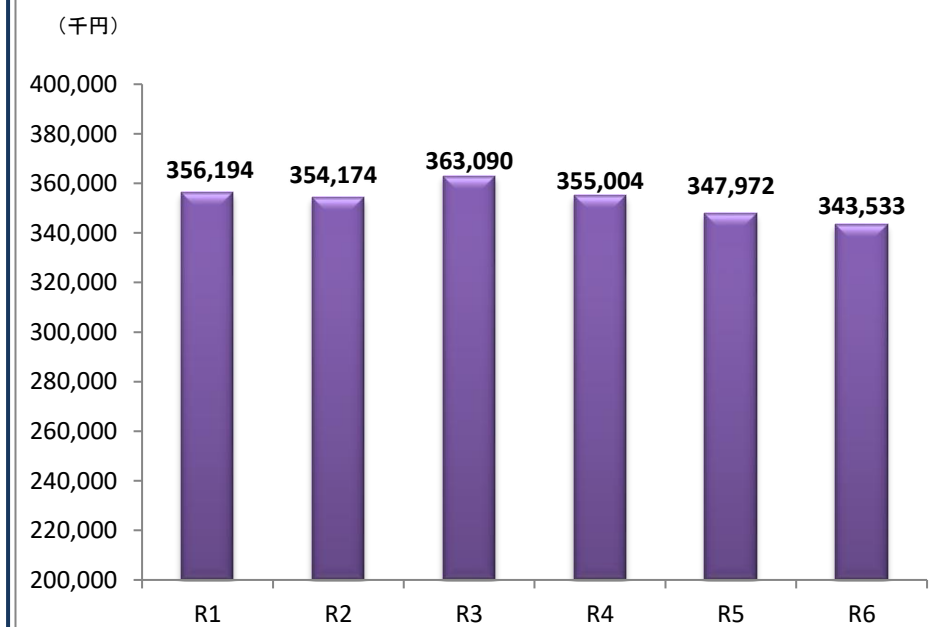
留萌市下水道事業は令和6年度より公営企業法の一部適用（財務適用）事業となりました。これは、人口減少、施設の老朽化など下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中であって、これまで以上に経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが必要であり、その第一歩として資産を含む中長期的な経営の姿を高い精度で見通していくことが不可欠であるため、水道事業と同様に公営企業会計への移行が必要であると判断したものです。

財務適用に伴い、令和6年度予算より公営企業会計様式となっております。

水洗化人口と有収水量の推移



下水道使用料（税込）の推移



収益的収支の状況

☆ 収益的収入 ☆

(単位：千円・%)

項 目	内 容	令和5年度 予 算	令和6年度 予 算	前年度比	構成比	比較増減比
下水道使用料	下水道使用料	—	343,533	—	37.9	—
雨水処理負担金	雨水処理費用に対する一般会計からの負担金	—	29,742	—	3.3	—
他会計補助金	繰入基準に基づいた一般会計からの補助金	—	269,832	—	29.9	—
長期前受金戻入	負債として計上された補助金等を収益化したもの	—	217,731	—	24.1	—
消費税及び地方消費税還付金	消費税及び地方消費税の還付	—	32,911	—	3.7	—
その他収益	その他補助金、手数料等	—	10,040	—	1.1	—
合 計		—	903,789	—	100.0	—

☆ 収益的支出 ☆

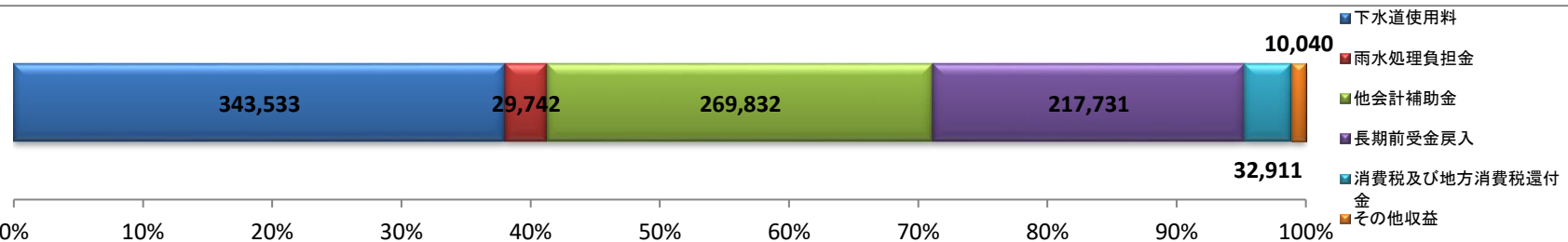
(単位：千円・%)

項 目	内 容	令和5年度 予 算	令和6年度 予 算	前年度比	構成比	比較増減比
営業費用	管渠維持、浄化センター管理、人件費等 下水道事業運営に係る費用	—	303,237	—	34.3	—
減価償却費	建物や機械などの減価償却	—	509,997	—	57.6	—
営業外費用	企業債（借金）の利息など	—	43,623	—	4.9	—
特別損失	過年度損益修正損等	—	20,463	—	2.3	—
その他費用	資産減耗費、予備費等	—	7,565	—	0.9	—
合 計		—	884,885	—	100.0	—

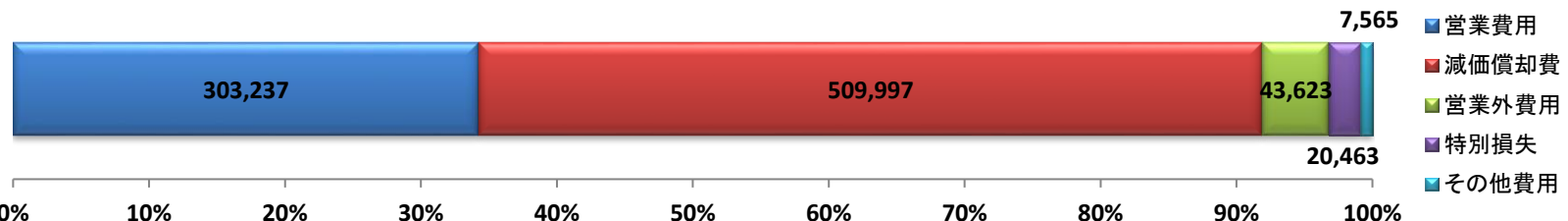
企業会計では、収入と支出を「収益的収支」と「資本的収支」に分けて考えます。
 収益的収入とは、下水道使用料や各種負担金等、事業運営によってもたらされる収入です。
 収益的支出とは、人件費、修繕費、減価償却費等、施設の維持管理に係る費用です。
 収益的収支の成績がいわゆる黒字、赤字と言われるものに当たります。
 令和6年度の予算では、1,149千円の黒字になる予定です。

令和6年

収益的収入



収益的支出



資本的収支の状況

☆ 資本的収入 ☆

(単位：千円・%)

項 目	内 容	令和5年度 予 算	令和6年度 予 算	前年度比	構成比	比較増減比
企 業 債	国などからの借金	—	465,500	—	65.6	—
工 事 負 担 金	下水道事業受益者負担金	—	7,555	—	1.1	—
他会計出資金	一般部局からの出資金	—	96,232	—	13.6	—
国庫補助金	国からの補助金	—	132,200	—	18.7	—
補 償 金	下水道管移設などの補償金	—	7,000	—	1.0	—
合 計		—	708,487	—	100.0	—

資本的収入とは、建設改良費の財源となる、企業債、国庫補助金等と、増資のための出資金があります。

資本的支出とは、建設改良費と企業債償還金があり、建設改良費は管渠やポンプ等の新設や更新といった資産形成に係る費用です。

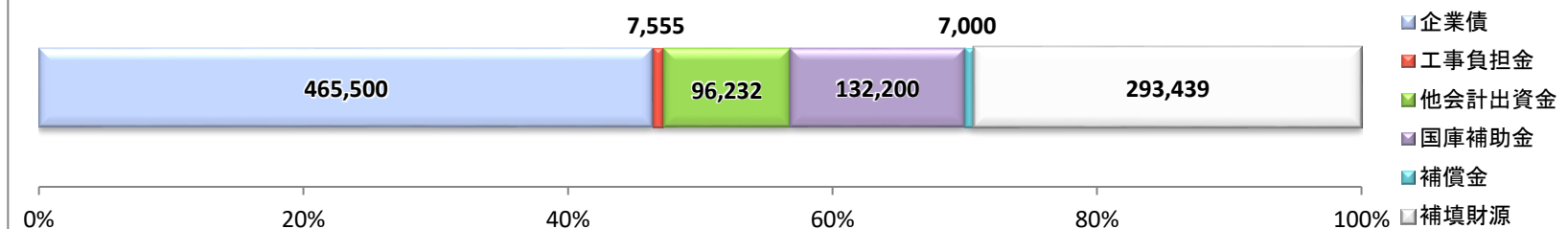
☆ 資本的支出 ☆

(単位：千円・%)

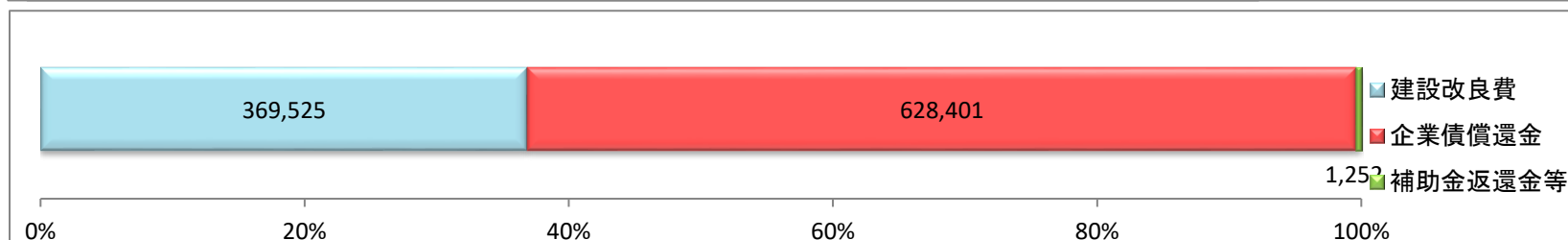
項 目	内 容	令和5年度 予 算	令和6年度 予 算	前年度比	構成比	比較増減比
建 設 改 良 費	施設の整備費、資産の購入費など	—	369,525	—	37.0	—
補助金返還金	国への補助金返還金	—	252	—	0.0	—
企業債償還金	企業債（借金）の元金返済	—	628,401	—	62.9	—
予 備 費	予備費	—	1,000	—	0.1	—
合 計		—	999,178	—	100.0	—

令和6年

資本的収入



資本的支出



※補てん財源＝資本的収支不足額□

この収支不足額については、損益勘定留保資金などの内部留保資金で補っています。

企業債（借金）残高及び元利償還（返済）の状況

企業債とは、下水道管や施設の整備などの事業に充てる資金で、事業を行うにあたり借り入れる地方債（借金）のことです。
下水道事業においては、元金償還金と減価償却費の差額で算定される資本費平準化債の借入が企業債残高の訳半分を占めている状況にあります。
今後も設備更新の財源として借入が必要になります。

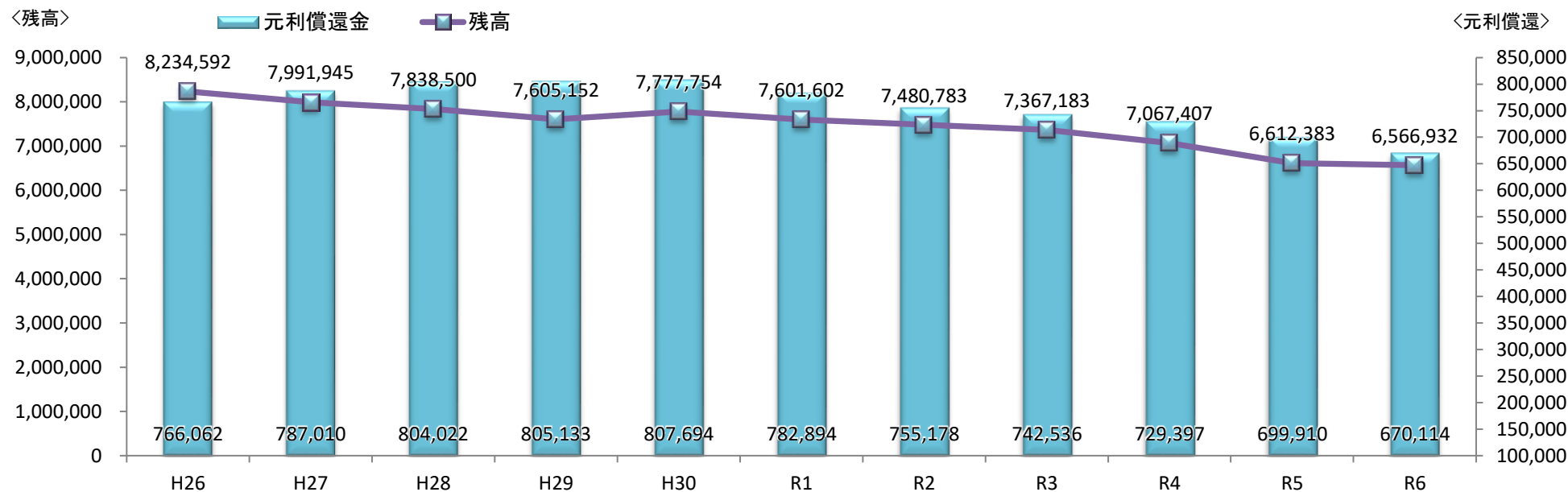
☆ 企業債償還金及び残高の推移 ☆

（単位：千円）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
元 金	609,958	645,247	679,245	696,148	713,299	701,152	684,719	682,000	677,676	652,823	628,401
利 子	156,104	141,763	124,777	108,985	94,395	81,742	70,459	60,536	51,721	47,087	41,713
元 利 償 還 金	766,062	787,010	804,022	805,133	807,694	782,894	755,178	742,536	729,397	699,910	670,114
残 高	8,234,592	7,991,945	7,838,500	7,605,152	7,777,754	7,601,602	7,480,783	7,367,183	7,067,407	6,612,383	6,566,932

企業債償還金と残高の推移

（単位：千円）



予定貸借対照表 ～バランシート～（令和7年3月31日）

貸借対照表とは、一定時点における会計の財政状況を示す一覧表のことで、「資産」「負債」「資本」を対照表示することによって、会計の財政状況を明らかにする財務諸表です。

資産合計と、負債資本合計が必ず一致し、表の左右のバランスがとれるのでバランシートとも呼ばれています。

☆ 資産の部 ☆

区 分	金 額
1 固定資産	
（1）有形固定資産	
イ 土地	327,239
ロ 建物	800,585
ハ 構築物	10,134,627
ニ 機械及び装置	1,232,901
ホ 車両運搬具	100,604
ヘ 工具、器具及び備品	0
ト 建設仮勘定	34,163
有形固定資産合計	12,630,119
（2）無形固定資産	0
固 定 資 産 合 計	12,630,119
2 流動資産	
（1）現金預金	17,196
（2）未収金	40,633
（3）貸倒引当金	△ 625
（4）その他流動資産	0
流 動 資 産 合 計	57,204

（単位：千円）

☆ 負債の部 ☆

区 分	金 額
3 固定負債	
（1）企業債	5,934,388
固 定 負 債 合 計	5,934,388
4 流動負債	
（1）企業債	601,294
（2）未払金	30,157
（3）賞与引当金	865
（4）法定福利費引当金	178
（6）その他流動負債	50
流 動 負 債 合 計	632,544
5 繰延収益	
（1）長期前受金	5,364,041
（2）収益化累計額	△ 217,731
繰 延 収 益 合 計	5,146,310
負 債 合 計	11,713,242

☆ 資本の部 ☆

区 分	金 額
6 資本金	
（1）自己資本金	813,482
資 本 金 合 計	813,482
7 剰余金	
（1）資本剰余金	159,450
（2）利益剰余金	1,149
剰 余 金 合 計	160,599
資 本 合 計	974,081

資 産 合 計 12,687,323

負 債 資 本 合 計 12,687,323